

科目名称:	造形教材研究Ⅱ	
担当者名:	森田 ゆかり、坂井 亜也子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材研究の面白さ、大切さを知る。</li> <li>・教材研究のプロセスやデータを記録し、見える形にする面白さと意味を理解する。</li> <li>・造形活動を通して自分自身の世界を広げ、自由に「表現」する楽しさを知る。</li> </ul>		
授業の達成目標・到達目標		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・見たこと、聞いたこと、感じたこと、考えたこと、学んだことなどを自分なりにまとめ、表現することができる。</li> <li>・様々な素材・用具・技法を応用して使うことができる。</li> <li>・表現の手段や方法を対象者・場・ねらいに即して柔軟に考えられる。</li> <li>・造形を通して「保育」の見方・考え方が広がり、造形活動（表現活動）の意義を理解できる。</li> </ul>		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、子ども・保護者・地域住民との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	保育・幼児教育を取り巻く様々な問題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	保育・幼児教育の分野において、基礎知識を身につけるとともに、使命感、倫理観、責任感をもって専門的な知識や技能を修得し、これらを柔軟に活用していくことができる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)					0
幼児教育DP(3)			70	30	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》森田 アートスクール講師（2歳児～小学生の絵画・造形指導）	《経験年数1》2年6か月
	《内容2》森田 アートディレクター（子ども対象のワークショップなど企画・実践）	《経験年数2》4年10か月
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
教材研究	目標を理解し、期待以上に試行・試作・応用することができる。	目標を理解し、試行・試作・応用することができる。	目標を理解し、様々な素材・用具・技法を使うことができる。	目標を理解していない。活動にあまり参加していない。
主体的・計画的取り組み（事前学修を含む）	授業の目標を理解し期待以上の主体的な学修が見られる。	授業の目標を理解し主体的・計画的に取り組んでいる。	授業の目標を理解し主体的・計画的に取り組もうとしている。	主体的・計画的に取り組めない。
教材研究のドキュメンテーション	プロセスやデータを期待以上に分かりやすく記録することができる。	プロセスやデータを分かりやすく記録することができる。	プロセスやデータを記録することができる。	文書が分かりにくい。量が少ない。
実践のまとめ	教材研究を通して感じたこと・考えたことを他者が納得できるように伝えることができる。	教材研究を通して感じたこと・考えたことを他者に十分に伝えることができる。	教材研究を通して感じたこと・考えたことを他者に伝えることができる。	教材研究を通して感じたこと・考えたことが他者に伝わらない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 教材研究⑦（グループワーク）	どのような素材・技法などについて研究したいか考え準備しておく。	30分
第2回 教材研究⑧（グループワーク）	どのような素材・技法などについて研究したいか考え準備しておく。	30分
第3回 教材研究⑨マリーゴールドの花活用プロジェクト1・マリーゴールドの花摘み（電子黒板使用）	「マリーゴールド」に関する調べ学習。	20分
第4回 教材研究⑨マリーゴールドの花活用プロジェクト2・マリーゴールド染め	「マリーゴールド染め」に関する調べ学習。	20分
第5回 教材研究⑦⑧⑨を見える形にする（グループワーク/電子黒板使用）	第1回～第4回の授業内容を復習。	20分
第6回 教材研究⑦⑧⑨を見える形にする（グループワーク/電子黒板使用）	第1回～第4回の授業内容を復習。	20分
第7回 教材研究⑩（グループワーク）	各自主体的・計画的に課題を進める。	15分
第8回 教材研究⑪（グループワーク）	各自主体的・計画的に課題を進める。	15分
第9回 教材研究⑫藍染め	藍染めに関する調べ学習。	20分
第10回 教材研究⑫藍染め	藍染めに関する調べ学習。	20分
第11回 教材研究⑩⑪⑫を見える形にする（グループワーク）	第7回～第10回の授業内容を復習。	20分
第12回 教材研究⑩⑪⑫を見える形にする（グループワーク）	第7回～第10回の授業内容を復習。	20分
第13回 教材研究の振り返り・まとめ	各自主体的・計画的に課題を進める。	15分
第14回 教材研究の振り返り・まとめ	各自主体的・計画的に課題を進める。	15分
第15回 教材研究の振り返り・まとめ	各自主体的・計画的に課題を進める。	15分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。  
また、事前事後学習については、上記内容以外に次回までの小レポートをまとめることになる。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。

事前学修10%、教材研究のドキュメンテーション30%、実践のまとめ30%、授業への積極的関与30%

#### 課題に対するフィードバック

「ドキュメンテーション」をもとに→グループで「ディスコース」（必要に応じてさらに全体で「ディスコース」）→次の活動を「デザイン」することにより、学びのサイクルが生まれる授業を試みている（レジャ・エミリアの「3つのD」KINJO特化造形表現モデル）。また、提出されるワークシートなどに担当者が目を通し、担当者も次回の授業をデザインしている。

#### 教科書・参考書

教科書：『美育文化ポケット 第33号～第36号』 公益財団法人美育文化協会（教科書は適宜授業で使用する）  
参考書：『特化造形表現・実践のまとめ』バックナンバー  
必要に応じてプリント配付